第壱学年週刊情報誌
学年通信
45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校　印刷室
電話　代表 078-974-5630
FAX　078-974-5631
https://www2hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 これで二年成績確定だ
4 令和3年度最後の昼食
3 ヒヤリハット通学路対策
2 合格発表イカ高勇者だ
1 五台揃ってゴダイジャー

学年末考査 これで二年成績は確定だ

2月18日(金)～25日(金)の5日間、2学年最後の定期考査である『学年末考査』が行われました。これで2年次の成績が**決定**します。

「俺、欠点無いから余裕～」

ちょっと待ったぁ～

3年になったら進学にせよ就職にせよ、高校時代の努力の証として『評定平均値』という数字が重要になってきます。この数字は

1年学年末の科目評価
2年学年末の科目評価
3年1学期末の科目評価
(いずれも10段階)

これをゴニョゴニョと計算して算出します。なので、今回の成績で、評定平均値の3分の2は決まったようなモノです…

(怖いよ～ぅ)

評定平均値云々の前に単位が取れるかどうか瀬戸際の人達もいます。今更おのれの計画性のなさを呪っても仕方ありません。やれるだけの事はやっていました。

試験開始前、廊下で最終確認に励む人達…、今まで頑張ってきた人も、最後くらいはやっとこうかと改心した人も、皆一様にノートを見ています。はたしてその効果は結果に出ていただろうか？神のみぞ知るよしもなしです。

最後の見直しに励む生徒達

進級、お金の準備を！

キチンと授業に出席して成績を取りヤンチャをしなければ、もうすぐ3年生になります。という事は…

新しい教科書が必要になるんですよね。選択科目によりますが、**3千円～1万円**程度必要になります。3月22日(火)に現金を持って学校で購入です。今のうちに準備しておいて下さいねー。

記念品贈呈式&各賞授賞式

皆が教室で授業を受けていた2月28日(月)、44回生(3年生)は卒業式の予行と合わせて、記念品贈呈式と各賞授賞式、そして同窓会入会式を行いました。例年であれば、これらの式は在校生も全員出席ですが、今年は昨年に引き続き44回生のみの式となりました。

記念品の内容は、

44回生から学校へ
『ベンチ三脚』(三面鏡)
PTAから44回生へ
『卒業証書ホルダー』
同窓会から44回生へ
『図書カード』
生徒会から44回生へ
『印鑑』

一年なんてあっという間だよ。なぁ、君達…

バス遅延、テスト開始遅れる

ホンマに最近、試験の度に何かあるなぁ～と思う位、何かがあります。今回はバスの遅延。事故渋滞か何なのか、とにかく朝のSHRになっても45回生が20名以上登校できていませんでした。他学年も遅刻者が多く、試験開始を8時45分から9時に変更して対応しました。この日、『単なる寝坊』で遅刻した人は、なんて得した事でしょう。まさに強運。でも、運に頼ってないでマジでやってや～っ。

マジ遅刻か思うたで…

試験後LHR大忙し

試験終了後のLHRは生徒も担任も大忙し。大量のテスト返却や配布・回収物、各種アンケート等々、短時間の間に**ばばっ**とやってのけねばなりません。先生によっては、先に返却物を個別にまとめて**ばばっ**と返却します。事前の労力大です。

時間は無限じゃありません。限られた時間にやるべき事を終わらせるのって、**メチャ大事だよね～。**

配布・返却・アンケートetc.で大忙し

令和3年度、最後の昼食だ

コロナ禍でいろいろ注文つけてゴメンな

しっかり食べたかい？

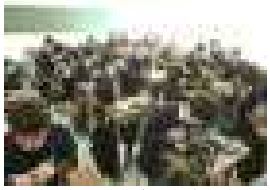
2月17日(木)、2年生の教室で皆と食する最後の弁当タイムが終わりました。

「このクラスで食べる最後の弁当や～っ」

「あ、ホンマや！」

多くの者がこの事実に気付いていなかった様子です。時間が経つのは早いぞ～、うかうかしてると『あっ』という間に卒業だし…。

『默食』をお願いしなければならなかった昼食タイムですが、ホンマに協力ありがとな。早く楽しい昼食タイムが戻って欲しいとマジで願います。


今のクラス最後の昼食です

ヒヤリハット！ 危険な通学路対策

伊川谷高校、長年の懸案事項である正門北側の危険な横断歩道、先日も地域の方の要望を受け、JAFが状況調査を行いました。県の調査によると、危険な通学路は県内に2867カ所あるそうです(読売新聞R3.2.26朝刊27面参照)。

『事故が起こってからでは遅い！』当たり前の事なのですが、一気に事は進みません。しかし、周りが諦めずに声を上げ続ける事が大事なのです。という訳で、

皆も気を付けながら、声あげようぜ！

合格発表 君達が明日のイカ高を作る勇者だ！

2月21日(月)、晴れてはいるが北風ビュービューのこの日、14時から本校丸池前で『特色選抜試験合格発表』が行われました。

発表の10分前、職員玄関から運び出される掲示板、まだ合格者番号は布で覆われてます。

びゅゆゆゅ～っ

突風です！ボードを覆う布の一部が、

がばぁ！

あわや大惨事(珍事？)になるところでした(笑)。

発表が始まると、歓喜・叫声・抱擁と様々な人間ドラマが繰り広げられました。受検者36名、合格者30名。未来のイカ高を担う生徒達が一足先に誕生した瞬間でした。

抱き合う未来のイカ高生達

ボード搬出の瞬間突風が

天性人語45th

『大人の階段』、昭和生まれの人には懐かしい響きではないだろうか。あだち充の『タッチ』と並ぶ代表作『みゆき』、そのエンディング曲『想い出がいっぱい』に出てくる言葉で、『大人の階段昇る～♪』は卒業ソングや合唱コンクールの定番として多くの人に歌われた。

▼そうなのだ、ある日急に大人になるのではなく、様々な経験を積む事によって、少しずつ人は大人になっていくのだ。まるで階段を昇っていく様に。成人の日という区切りはあるが、その日を境に何かが変わる訳ではない。長い時間と共に、少しずつ、少しずつ…。▼44回生が卒業した。高校卒業も、長い人生の中では大人の階段の一段に過ぎない。それでも卒業生達は、確実にこの階段を一段昇った事になる。こうやって、長い人生、一段一段と噛みしめながら皆、大人の階段を昇っていくのだ。▼因みに、『階段をのぼる』の漢字は一般的には『上る』が使われる。しかし、『想い出がいっぱい』の歌詞は『昇る』である。実は『昇る』には、『空や天に向かう』という意味がある。なので、『上る』を使わずにあえて『昇る』を使ったのであろう。▼このコラムを書きながら、男性デュオH2Oが歌う『想い出がいっぱい』が頭に響いている。でもH2Oって、いつも肝心のサビで音程はずすんだよなあ…。

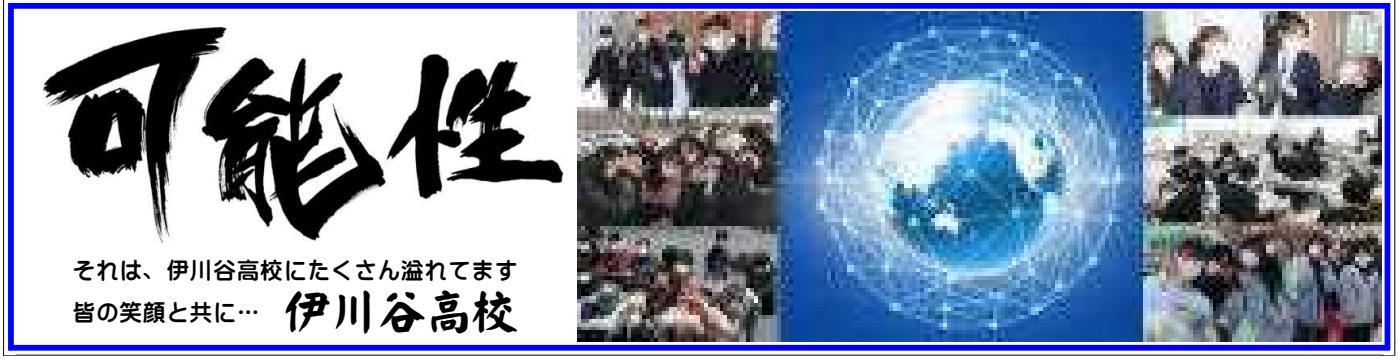
(福田)

兵庫県立
伊川谷高等学校
逍遙歌(4番)
作詞 矢田部 大
作曲 岡村 義治

冬伊川谷水渠には
凛烈の霜みつれども
あゝ我が友よ連綿の
歴史の流れ君知るや

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢

校訓
自主 協同



読者のページ

School Teacher @ Voice

45回生 修学旅行記 ⑤

いよいよ修学旅行も最終日です。編集長、5時30分に起きてテレビをつけると、『岩手・奄美・トカラで津波警報　つなみ！にげて！』とけたたましい状況になってるじゃありませんか！

『地震か？被害は？飛行機　飛ぶか？帰れるのか？』頭の中をマジでいろんな事が駆け巡りました。しかしそんな事はお構いなし、夜が明けて朝食会場に来る者は皆、目が開いてないか、あくび連発の者ばかり。何という幸せそうな光景…。

『ま、何とかなるか』

とこっちが思ってしまいました（苦笑）。それにしても、昨晩あまり寝てないんだろうなぁ。後の移動バス内の状況が容易に想像できます。

こんなにも眠い朝食（笑）

食後は最後の部屋確認（破損調査や忘れ物チェック等）と出発準備です。以外とスーツケースの移動は皆、スムーズに行っていました。ただ一点、靴下や裸足で運んでいる者が多数居る点を除いては…（學年通信74号二面右上参照）。

外、バリ寒い～！

スーツケースをトラックに積んだら、クラス毎に2台のバスに分乗し出発です。ホテルの人がえらく沢山見送ってくれました。バスは一路、小樽を目指して…、と思ったら、バスの前に除雪車が…。

『遅い～～っっ！』

マジかいな？と思う状態がしばらく続きました。その後は道を譲ってくれ、無事予定通り小樽に着きました。

寒い小樽に人居ない～

皆で楽しく小樽散策、解散後皆楽しそうに何処かへ行ってしまいましたが、実は裏では大変なことが…。

『道路が止まってる！』

そうです、大雪で高速道が札幌前後で通行止めになっていたのです。このままでいけば、新千歳空港でお土産を買う時間が無くなってしまいます。

『ま、様子見だな～』

こういうときは成るようになる、慌てず小樽散策が終わるまで状況を見守る事にしました。

散策中のイカ高生を発見

小樽は小さい、きっとイカ高生で埋め尽くされてるぞ！と思ったら、ほとんどイカ高生を見かけません。皆何処へ行ったの？？どうやらお昼時だったので、散策より先にエネルギー補充の様でした。取材のためだけに食事の店に入る訳にもいかず、昼食時の写真はほぼ撮れませんでした（泣）。

昼食が終わったのか、小樽の町をイカ高生がチラホラと小樽征服しだしました。店内ではカゴ、店外では紙袋を抱えています。完全に『財布のヒモがゆるんでる』状態です。

ヒモがゆるんでる最中

小樽散策が終わってバスの駐車場に戻ると、隣には N田高校のバス列ができてるじゃあ～りませんか！何もこんな離れた場所で神戸の高校に出会うなんて、恋が芽生えるシチュエーションじゃないか！（芽生えませんでした　笑）

余程日頃の行いが良いのか、懸案事項だった高速道路の閉鎖が解除されてました（ラッキー♪）。これで新千歳空港のお買い物タイムも確保です。新千歳空港でも楽しそうにするイカ高生達、しかしあまりにデカい空港のため、イカ高生の空港征服はできませんでした。

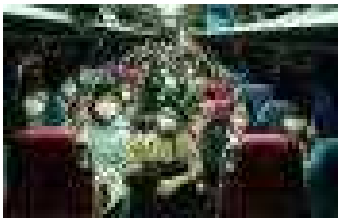
空港の一部を征服中（笑）

空港の一区画で解団式をするイカ高旅行団、他のお客さんには迷惑極まりないので、静～かに行いました。そしていよいよ飛行機は夕暮れのフライト、気分は米米CLUBの『浪漫飛行』。

どんなときでも
全てはそこから
始まるはずさ～♪

伊丹空港から湊川神社まで、各クラス1台のバスで帰ります。ようやくクラス合体！でも、ほとんどの者は満足感の疲れの中で、井上陽水さんになってます。

夢の中へ～
夢の中へ～♪



乗った時はまだ元気でした

るーるるる、るーるるる。

キタキツネを呼ぶ中嶋朋子さん・吉岡秀隆さん・田中邦衛さんの居ない北海道でしたが、頭の中では延々とさだまさしさんのスキャットが流れる北海道修学旅行でした。（完）

伊川谷High School 次号予告

45回生修学旅行記も、何とか5回の連載でまとめる事ができました。という訳で、次号は『修学旅行生徒感想』を掲載する予定です。

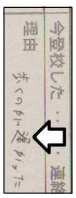
各クラス、これはという感想を担任の先生が選んでますが、残念ながら『一部抜粋』になる事、ご承知下さい。

（だって、皆ごっつい量を書いてくるんだもの…笑）

2年あれこれ

▼いいわけ　シャ乱Qのヒット曲とは関係ありません。2月17日朝、遅刻してきたS君の入室許可証に書かれた理由『歩くのが遅かった』

加速装置※でも付けんかい！



悪い入室許可証

※【用語解説】加速装置　昭和のアニメやマンガに出てくるサイボーグによく備わっている装置。8マンはこの装置により新幹線ひかり号より早い時速3000キロで走れるし、サイボーグ009のリーダー島村ジョー（009）は奥歯に装置のスイッチがある。

▼冷たい手　手が冷たい人は心が温かいってよく言いますよねー。試験中の寒い朝の登校、手にプリントを持つ人の多い事、多い事…。きっとみんな、心が温かいんだねー（笑）。

▼楽しいノートチェック　課題ノートのチェックもたまに楽しくなる時があります。例えば最後のページに、

数Ⅱむずかしかったけれど楽しかった～です!!
ありがとうございました

など、嬉しくなるメッセージを見つけたり、解き直しです。解き直してます。解き直してます。ガンバリマス　てへへ ⇓

というアピールメッセージを見つけたり…。こういうのを見つけるのが教師の『ささいな幸せ』です（笑）。

▼チョコと骨　昼食時、手作りのチョコを皆で分け合う生徒達…、高校生活楽しんでるねぇ。おっと、その手作りチョコの横には、食べたあのチキンの骨が…。なんとも言えない面白いコントラストでした。

チョコの蓋に置かれた骨

▼ドキドキ　愛の告白と同じ位にドキドキするモノ、な～んだ？「テスト返却～♥」

そのとお～り（笑）

五台揃ってゴダイジャー

中庭に並んだ5台の勇者達？（笑）

44回生のありがたき置き土産、3台のベンチが中庭駐車場にやってきました。元々ある2台と合わせ、とうとう5台になりました。

五台揃って、ゴダイジャー！※1

きっと暖かくなったら、このベンチに座って楽しそうに食事をするイカ高生を見る事ができるだろう。

在校生、感激～っ※2

アカからモモレンジャーまでの4人は、黒十字軍（ショッカーの様な集団）がイーグル（日本を守る人達）日本各支部を襲った時に、勇敢に戦って生き残った人達である。しかしミドレンジャーだけは、黒十字軍襲撃時に屋上のハトに餌をやりに行って運良く難を逃れた人である。

【※1の元ネタ解説】言わずと知れた、戦隊モノの元祖、『5人揃ってゴレンジャー』です。因みにゴレンジャー小ネタを。

【※2の元ネタ解説】ハウスバーモンドカレーの昭和時代のCM、この中で西城秀樹さんの一躍有名になったセリフ、リンゴとハチミツとろ～りとけてる♪

ヒデキ、感激！

広告　ステキな人材の獲得は　信頼と実績の『伊川谷高校』で！

おまいさん、ちょいとばかしこのネタ古くないか？

ふらりと入った寿司屋でイカを頼んだら、色の変わったモンが出てきた。その時言ったセリフ…ではありません。

『學年通信』のネタが少し古いかな～って感じませんか？學年通信発行の流れは、『本誌作り』→『学年の先生方のチェック』→『手直し』→『その他の方々のチェック』→『ちょっとした修正』→『印刷・発行』となります。これだけの手順を踏んでるうちに、ネタが段々古くなり、味が落ちていく訳です。まぁ、その辺は目をつむってよろしくお願いしま～す。

※そんなドキドキの瞬間を撮影してみました。どう？心臓飛び出た？

試験返却中の5組

ちょっとお詫びです

『學年通信』を読まれて、「P子ばかり写ってる～」「うちのS男が載らない！」なんて思われる事も多々あると思います。年齢的に写真に写りたがらない子もいたりで掲載生徒に偏りがあった事を、ここに謹んでお詫び申し上げます。**すみませんでした。**

●定期講読のご要望は伊川谷高校式学年主任兼編集長 福田まで　●紙面へのご意見も編集長 福田まで